

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で、ゆったりと、自分らしく生活できるよう開設時に職員と理念を作り上げ実践している。会議にて理念のキーワードを再確認しあい、共有できている。	事業所の掲示、モニタリング時での確認及び会議において理念の中にある言葉の1つひとつを検討し、意思統一と実践に向けた取組みが行われています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の行事に参加したり、グループホーム主催の行事やクッキング教室に参加を促したりし、交流する機会がある。	新年会・クリーン活動・敬老会・観桜会などの行事に声をかけてもらい、参加されています。また、地元の小・中学校の生徒に来ていただいたり、ご利用者の作品を文化祭に出展するなどの交流が図られています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	桜木町の回覧板に介護一口知識を載せたり、お茶飲みに来られた方々に実際の生活状況を見て頂けるようにしている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、民生委員、区長、市の職員の意見を積極的に聞き入れ、サービスの見直し等に取り組んでいる。	年間6回の開催がされており、事業所からの報告や質問に対する回答に加え、地域との交流に関する協力依頼や参加者からの意見が事業所の運営に反映されています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは行き来する関係があり、協力体制もできている。	市の担当者は運営推進会議にも参加していただいており、ホームとしても市の活動へは協力をするようにしています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員設置あり。昨年10月に学習会も開催。同時期に身体拘束に関する事例が発生した為、各項目について正しく理解できるよう再度話し合いを持つ。	ご家族の希望により拘束を行う際にも、同意書及び経過報告をとるようにしており、新聞記事による事例検討や実際の対応策などを勉強会を開き、職員に周知徹底が図られています。		
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	昨年10月に虐待関連法などについて学習会を行った。事例検討も取り入れ、具体的に対応を学び意見交換しあった。	身体拘束同様に、新聞記事による事例検討や実際の対応策などを勉強会を開き、職員に周知徹底が図られています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護関連の研修に職員が参加し、報告を兼ねて学習会を行い職員全体に学んでもらえる機会をもてた。現在グループホームで制度を必要としている方はいないが、家族から質問される事があり、必要な助言ができた。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明をすると共に、質問や疑問などを受け納得頂けるよう対応している。解約後も面会に出掛けたり、電話連絡している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、家族から直接意見を言ってくれる関係ができていない。頂いた意見は受け入れ職員間で共有している。	ご家族から頂いた苦情・意見・要望は受付処理票にて対応を記録しており、毎月の会議で検討し改善するようにしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のチーム会議で意見や提案を話す機会がある。それ以外でも必要に応じ管理者は意見を聞き入れ反映させている。	月に1回のチーム会議にて意見や提案を出す機会が設けられています。また、管理者も頻繁に現場に出ており、日常的に職員とお互いに提案や意見を出し合う関係が作られています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自の状況を把握し、声を掛け合い互いの長所を認めながら良い刺激となって向上心を持続けられるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の力量を把握しながら研修参加や、日頃の実践の中で個人の目標達成に向けたトレーニングも必要に応じて取り入れるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームや施設に出掛け交流を図っている。同地区のグループホーム管理者と情報交換する機会のある。実践者研修の受け入れもある。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまでに何度か自宅を訪問し、本人や家族から話を聴き受け止め、地域での生活状況も把握するよう努めている。		
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人と同様に家族に対しても話を良く聴き受け止めるよう努めている。		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援の見極めは重視している。優先すべきサービスがある場合には受けられるように対応している。		
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人を生活のパートナーとして過ごし、調理や畑仕事では職員が学ばせて頂いている。		
19	(7-2)	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人の間に立ち共に支え合う関係作りをしている。	家族会を夏・冬に実施しているほか、行事にもできるだけ参加してもらうようにしています。また、毎月の広報で様子を伝えるなどして、ご家族と共に支え合う関係作りをしています。	
20	(8)	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、本人の了解を得て、本人の友人や独居であった自宅への外出を取り入れたりする支援を行っている。住み慣れた場所の朝市に出掛けたり関係持続の支援に取り組んでいる。	ご自宅への外出を支援に取り入れたり、直江津の朝市に出かけるなど、馴染みの場所への外出支援も状況に合わせて行なっています。	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者個々の性格を把握し、入居者同士で支え合う関係作りが出来るよう努め、席や作業する際にさりげなく援助し見守っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族の方から近況報告の電話があったり、こちらからも必要に応じて相談にのって経過を見守っている。		
、その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向の把握に努めている。本人から意向が伺えない場合は家族からの意向も踏まえ本人本意に添えるよう検討し話し合いを行っている。	日々のケアにおけるコミュニケーションや行動から得た情報をケアプランへの反映が行われています。ご利用者の個別の外出支援にも対応しています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活歴の把握に努め、家族や関係者にも情報提供をお願いしている。情報を受け止め職員間で情報を共有している。(センター方式の様式を取り入れた情報収集も行っていきたいと考えている。)	利用開始時のアセスメントに加え、日々のケアにおけるコミュニケーションや行動から得た情報を経過記録に細かく記載し、ケアプランへの反映が行われています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者個々の現状把握に努めている。記録に残したり、申し送りによって情報を共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人のニーズに則した計画になるよう関係者からの意見も反映し、話し合いを持ち作成している。	日々の申し送りによりご利用者の状態を全職員が共有し、月に1度のチーム会議によるモニタリングを踏まえ、3ヶ月に1度の定期的な見直しが行われています。加えて、状態変化による随時の見直しも行われています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録がなされており、4日おきにケア内容の実践評価も行う形をとっている。評価に基づき職員間で情報を共有しながら見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に応じて柔軟に対応出来るようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個々の地域資源を把握するよう努め、協働できるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の移行を求められた家族からの相談には希望を聴き受け止め、納得の得られるかかりつけ医を選ばれた。かかりつけ医との関係も築いている。受診には家族、職員と交互にお連れしている。	毎月の受診には職員とご家族が交互に同行しているほか、ご家族への情報提供も行なう中で、かかりつけ医との情報交換や関係づくりが行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同事業所内のデイサービスに看護師が常におり、連絡体制も整っており日常の健康管理の指示をもらい支援している。かかりつけ医の看護師との関係も良好で、助言等頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員、家族が相談でき、入居者も診断治療が受けられる医師を確保している。病院関係者と情報交換をしながら医療活用の支援をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家族、医師等との話し合いをして、方向性を検討し事業所として対応している事、できない事を見極め方針を決め共有している。	医療行為の必要がない範囲内で対応をするという事業所の方針を入居時に説明しており、ご家族・医師・職員間で共有されています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所全体で学習会を定期的に行って、緊急時の対応や初期対応について学習している。	救命救急講習は職員全員が受講しているほか、併設のデイサービスの看護師が講師となってマニュアルを使用した研修も行なわれています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災委員会による避難訓練が定期的に行われると共に、災害時対策のマニュアルあり、見直しを行っている。	消防署の指導のもと、併設デイサービスと合同の避難訓練が近隣住民も参加して行われています。しかし、職員への非常用食品の所在の徹底や水の備蓄の確保には課題が残ります。	職員への非常用食品の周知と水の備蓄を確保されることを期待します。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重し、個々の情報の取り扱いにもプライバシーを損ねる事のないように対応している。	写真の掲載やお部屋の表札についても同意を得るなど羞恥心に配慮した対応が周知徹底されています。また、個人情報の取扱いは明文化された方針と目的に基づき、事業所にも掲示されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々に合わせた声掛けをしており、時間がかかっても自己決定していけるように見守る援助をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日、その時の希望に添えるように会話を持ち、個々のペースに合わせ自分らしい生活を大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の好みや習慣を大切に、おしゃれを楽しんで頂けるよう支援している。身だしなみも入浴後、起床後、外出時等必要に応じて一緒に洋服を選んだりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備、食事、片付けまで全て入居者と一緒に行っている。個々の好み、得意とする事、力を活かせる環境作りをしている。献立に入居者の煮物の日を入れるなど、主体的に行って頂ける場も作っている。	畑での収穫や差入れされた旬の食材をご利用者と職員で相談し、メニューに取り入れられています。また、準備から食事、片付けをご利用者の希望や状態に応じて職員と共に行い、大家族のような雰囲気の中で楽しく食事が行われています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の持病や体調等の情報を職員間で共有しながら、食事量や水分摂取を観察している。習慣に応じ、バランスの良い食生活ができるように声掛けや促しをしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔ケアを行っている。個々の口腔状態に応じて、支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターン、生活習慣、水分量などを把握し、プレイバシーにも配慮しながらトイレ誘導の援助を行っている。	排泄チェック表による排泄パターンの把握や仕草を職員間で共有し、トイレ誘導が行われており、自ら言えないご利用者に対しては臭いでさりげなく確認し対応するなどの工夫がされています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態によっては看護師やかかりつけ医にも相談し、予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日を本人に決めて頂いたり、一緒に入浴したい方と同じ時間になるようにしている。	入浴日と入浴時間に関して、体調や希望に応じて柔軟な対応がとられています。また、ご利用者同士での入浴や併設デイサービスの大きなお風呂での入浴など、入浴を楽しめるよう支援が行われています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡の時間に休む習慣のない方、ある方などそれぞれの生活習慣に合わせている。安心して休息や睡眠がとれるよう状況に応じて環境作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬一覧表を作り、薬の作用、用法、用量、副作用について職員全員が理解し支援できるようにしている。薬の内容に変更が合った場合家族にも連絡しており、必要に応じて記録に症状の変化も記載。かかりつけ医との情報交換もできている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合わせた役割を取り入れている。楽しみ事や気分転換では個別に外出を取り入れたり、しいたけ栽培を出来るように環境を整えたり、個別支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別の外出を取り入れており、家族の了解を得て自宅周辺や通い慣れた散髪屋、好きな場所、外出に出掛ける支援をしている。自宅へ行き、地域の方とお茶を飲んでグループホームまで送って下さる等、地域の方の協力も得られる。	近所の公園や畑への日常的な散歩や、さまざまな場所へのドライブに加えて、ご利用者一人ひとりのこだわりや意向に応じて、遠方まで買い物に行くなどの支援が行われています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出掛けた時には、本人の力や希望に合わせて、財布を持ち買い物を楽しくで頂けるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話が出来るようリビングに電話を設置してある。手紙は職員と近くのポストへ投函に行く。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者にとって不快となる物が無いように配慮し、季節の花を飾ったり、入居者自身で作った唐辛子のつるしを入り口に飾ってある。気軽に楽しく会話出来るようベンチやソファ、自由にお茶が飲めるように置いてある。	天窓のある高い天井とオープンキッチンにより、自然光を取り入れた開放感のある空間になっています。また、畳コーナーや通路にソファを置くことで、一人ひとりが落ち着く場所が見つけられるよう配慮されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方とお互いの部屋を訪問したり、居間で座って話しをしたり、リビングや廊下のベンチで休んだりと思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の希望に添えるよう話し合いながら、馴染みの家具や装飾品、テレビ、鉢植えなど持ち込んで頂き、配置にも配慮している。	共有スペースを中心に左右対称に居室が配置されています。そのため、左右の廊下の壁紙の色を変えることや、居室の入口にある小窓と居室のカーテンの色を同じくし、各居室ごとに色を変えることで、自分の部屋であることを分かりやすくするなどの配慮がされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施錠、冷暖房は出来る方には説明し行って頂き自立した生活となるよう声をかけている。		

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	